

令和2年度  
MEMSパークコンソーシアム  
総会議案書

令和元年度 事業活動報告・決算報告  
令和2年度 事業計画（案）・審議事項

令和2年6月26日（金）

**MEMS**  
**PARK CONSORTIUM**

## 報告事項

### 1 活動方針（令和元年度総会決定）

既存事業については、経常的経費の削減を行い、ネットワーク活動のさらなる充実に充て、会員満足度の向上を図る。

また、マスコミからの注目度の高い国際イノベーションコンテスト（iCAN）の活用や、展示会への出展を通して広報活動を強化することで、新規会員の獲得を図る。

#### (1) 情報発信事業

MEMS 集中講義や他機関との連携による効果的なセミナーを実施し、MEMS 技術の積極的な活用を促すとともに、WEB サイト、メールマガジン等の広報ツールを活用し、会員企業様への情報発信の更なる充実を図る。

また、各県公設試や企業と連携の上、ナノ・マイクロビジネス展等への出展を継続し、東北地域のものづくりネットワークを広くアピールする。

さらに、仙台 MEMS ショールームの各種展示物のアップデートにより、MEMS 分野における最新情報を発信していくほか、ショールーム内でのセミナーを開催することにより、仙台地域における MEMS の拠点性をアピールする。

#### (2) 人材育成事業

基礎講座・設計実習・試作実習とも希望に応じて実習開始時期を通年とし、より企業ニーズに即した形で会員企業様等が自ら企画したデバイスの試作実習ができるよう、人材育成事業を実施する。

また、iCAN' 19 国内予選の仙台開催、世界大会の日本事務局の運営により、高校生から大学院生等の次世代の MEMS 技術を担う若手人材育成を強力に推進する。

#### (3) 技術相談事業

展示会での技術相談のほか、WEB や東北地域の関係機関によるネットワークを有効に活用して迅速な課題解決を図る。

#### (4) ネットワーク形成事業

セミナーと連動した交流会の実施により、会員同士、講師の方々との情報交流を促進し広範なネットワーク形成を支援する。

## 2 活動内容（実績）

### （1）情報発信事業

#### ①公開セミナーの開催

##### ■MEMS 集中講義 in 川崎【AIRBIC】

日程：令和元年7月29日（月）～7月31日（水）

場所：かわさき新産業創造センター AIRBIC 1階 会議室（川崎市幸区）

参加者数：134名（一般120名，講師・関係者14名）

内容：

- ・川崎市での開催となった今年は，東北大学，東京大学の研究者の方々より，MEMS 技術の基礎的知識から各分野のアプリケーションへの応用展開，最新の技術・業界動向や，センサ・MEMS を用いた異分野融合研究について等，様々な角度から情報提供を行った。
- ・期間中 AIRBIC に隣接する川崎市の産学官共同研究開発施設である「NANO BIC」の見学会を行った。
- ・また，参加者の相互交流・連携構築を目的とした交流会も行った。



講義風景



交流会風景

##### ■マイクロシステム融合研究会

本研究会では，大学や企業の方が集まって，各々の研究している技術の現状や，新しいプロジェクトの展望，MEMS を含む今後のナノテク分野の産業の在り方などについて発表・議論した。

なお，第28回マイクロシステム融合研究会及び MEMSPC Café（交流会）を東北大学東京分室にて実施する予定でいたが，新型コロナウイルスの感染拡大に伴い，研究会はYouTubeによるオンライン配信に変更し，交流会は延期とした。オンライン配信の参加者からは「普段研究会にはなかなか参加できないが，オンライン配信だと柔軟に対応でき非常にありがたい」といったコメントがあった。

##### ・第26回マイクロシステム融合研究会

日程：令和元年6月28日（金）14:00～18:00，18:00～18:30 交流会

場所：東北大学「西澤記念研究センター」内「仙台 MEMS ショールーム」

参加者数：60名

##### ・第27回マイクロシステム融合研究会

日程：令和元年10月25日（金）14:00～17:40，17:40～ 交流会

場所：東北大学「西澤記念研究センター」内「仙台 MEMS ショールーム」

参加者数：40名

・ 第28回マイクロシステム融合研究会

日程：令和2年2月28日（金）13:30～16:30

視聴者数：当日60名、3月4日現在224名

②展示会の開催・出展

■ SEMICON Japan 2019

日程：令和元年12月11日（水）～13日（金）

会場：東京ビッグサイト

展示会来場者（3日間合計）：51,109名

ブース来場者（3日間合計）：約150名

内容：東北大学「小野・猪股/戸田研究室」及び「田中研究室」と共同で出展。

MEMSPCの事業紹介や試作コインランドリのパンフレット配布等を行った。

■ MEMS センシング&ネットワークシステム展 2020

日程：令和2年1月29日（水）～31日（金）

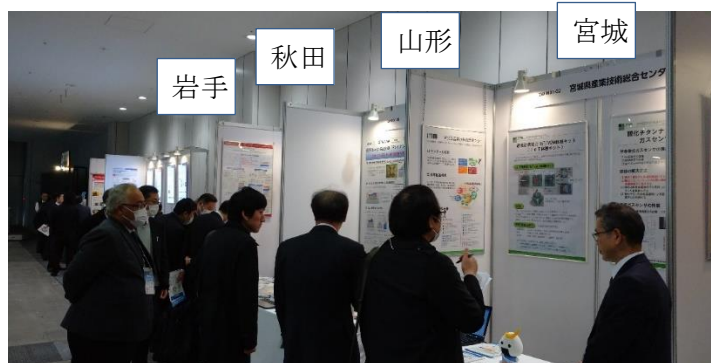
会場：東京ビッグサイト

展示会来場者（3日間合計）：47,692名

ブース来場者（3日間合計）：約150名

内容：MEMSPCの提携会員である岩手県、宮城県、秋田県、山形県の公設試と連携して出展。東北地域として一体感を持ってPRを行った。

主な同時開催イベント：nano tech 2020 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議



MEMS センシング&ネットワークシステム展 2020 での展示の様子

③MEMS ショールームの運営

MEMS ショールームを会場とした研究会の開催等により、数多くの方に展示デバイスやMEMSの歴史等をご見学いただいた。

・ 令和元年度見学者数（署名いただいた方）：31名

・ オープン（2012年5月）以降累積見学者数：1,136名

## (2) 人材育成事業

### ①第10回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト (iCAN' 19) 国内予選

日程：平成31年4月14日(日)

場所：せんだいメディアテーク

参加者総数：関係者約100名、一般客約100名 計約200名

内容：MEMSデバイスを用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う国際コンテストの国内予選を開催した。大学生・高校生計17チームが予選に参加し、審査の結果、東北大学(Team Rocket)の『画像追従式測量機』、仙台五橋中学校・東北学院大学・東北大学(Smart Othello)の『みんなでオセロ』の上位2チームが世界大会出場を決めた。



展示の様子



全体集合写真

### ②第10回国際イノベーションコンテスト (iCAN' 19) 世界大会

日程：令和元年6月22日(土)～24日(月)

場所：ドイツ・ベルリン

出場国(地域)：中国、ドイツ、イギリス、フランス、日本、スイス、ポーランド、デンマーク、フィンランド、タイ、香港、台湾から19チーム

内容：東北大学(Team Rocket) → 2位

仙台五橋中学校・東北学院大学・東北大学(Smart Othello) → 3位



参加チームの集合写真

### ③MEMSPC 人材育成事業

MEMSPC では、既存産業の高付加価値化、競争力強化のため、MEMS 技術全般について体系的に習得した人材を育成する事業を、産学官連携で提供した。

- ・基礎講座（インターネットスクール） 受講者数：11 名
- ・設計・試作実習講座 受講者数：1 名

### (3) 技術相談事業

各種展示会や試作コインランドリでの技術相談のほか、MEMS パークコンソーシアムのホームページ上に、MEMS 技術に関する各種相談を受けるための相談窓口を開設している。

### (4) ネットワーク形成事業

#### ①情報交換の場の提供

各種セミナー・フォーラムの開催後、参加者相互、講演者等とのネットワーク構築、情報交換のための交流の場を提供し、多数の皆さまにご参加いただいた。

- ・交流会の実施：5 回

#### ②MEMSPC Café の開催（延期）

第 28 回マイクロシステム融合研究会との併催で MEMSPC Café（交流会）を東北大学東京分室にて実施する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、開催は延期とした。次年度、再度マイクロシステム融合研究会との併催による実施を検討する。





## 令和元年度 決算報告

### 1 一般会計

(単位：円)

※令和2年3月末現在

【一般会計】収入の部				
項目		R1年度予算	R1年度決算	備考
前年度繰越金		15,550,158	15,550,158	
会費収入		4,300,000	4,200,000	1口50,000円
人材育成試作実習受講料		0	1,212,916	
協賛金		0	100,000	財団法人みやぎ産業科学振興基金様
雑収入		0	133	銀行利息
iCAN特別会計繰戻		0	0	
交流会会費		100,000	63,000	
小口現金から繰戻		0	0	
収入合計		19,950,158	21,126,207	
【一般会計】支出の部				
項目	内訳	R1年度予算	R1年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	30,000	0	
	さくらインターネットHP更新作業費	6,000	3,982	
	さくらインターネットサービス継続利用料	6,000	0	
小計		42,000	3,982	
出展関係費	MEMSセンシング & ネットワークシステム展	85,000	0	展示物送料, 出展雑費
	SEMICON Japan関係	50,000	0	アカデミックブース出展
小計		135,000	0	
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	70,000	59,400	MEMSPCブース出展費用
	MEMSマッチングフォーラム	150,000	0	
	MEMS集中講義開催経費	200,000	0	講義映像記録費・会場使用料・講師謝金・旅費
小計		420,000	59,400	
交流会開催費	MEMS集中講義	100,000	211,080	
	MEMSマッチングフォーラム	0	0	
	マイクロシステム融合研究会	100,000	35,000	
	MEMSPC Cafe	0	0	
小計		200,000	246,080	
人材育成運営費	人材育成運営費	0	1,212,916	人材育成試作実習運営経費
小計		0	1,212,916	
iCAN運営費	iCAN運営費	3,701,000	2,926,421	※詳細な内訳は特別会計予算参照
	振込み手数料	0	0	
小計		3,701,000	2,926,421	
事務関係費	消耗品費	30,000	13,969	事務消耗品費, 年会費請求書・各種案内送料
	銀行手数料	0	4,038	銀行振込・払戻手数料等
小計		30,000	18,007	
両替手数料		500	0	
小口現金へ払出		150,000	0	
小計		150,500	0	
ショールーム関係費用	建物賃付料	170,000	157,025	
	光熱費	45,000	37,815	H31.2月～R2.1月分
小計		215,000	194,840	
支出合計		4,893,500	4,661,646	
当年度収支		-493,500	914,403	
次年度繰越金		15,056,658	16,464,561	



## 2 特別会計 令和元年度 iCAN 運営費

(単位：円)

※令和2年3月末現在

【特別会計】収入の部				
項目		R1年度予算	R1年度決算	備考
前年度繰越金		0	0	
一般会計からの繰入金		3,701,000	2,926,421	
協賛金・助成金		0	0	
雑収入		0	86,082	銀行利息、福島県立小高産業技術高校 iCAN'19国内予選交通費補助実費差額返金、 せんだいメディアテークiCAN'20施設使用取消 還付金振込
収入合計		3,701,000	3,012,503	
【特別会計】支出の部				
項目	内訳	R1年度予算	R1年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	740,000	656,000	関西地域(25,000円/4人×2チーム、 25,000円/3人×1チーム) 中部地域(23,000円/4人×2チーム、 23,000円/3人×2チーム) 関東地域(13,000円/3人×1チーム) 東北地域(5,000円/4人×1チーム) ※1チーム4名迄。 県内からの参加者は補助無。
	世界大会参加国内旅費	200,000	174,420	
小計		940,000	830,420	
海外旅費	世界大会参加旅費	1,756,000	1,380,175	海外日当含む
小計		1,756,000	1,380,175	
国内予選 人件費	審査員謝金	50,000	30,000	審査員3名分(4名中1名アルプスアルパイン竹谷様謝金辞退)
	審査員旅費	150,000	90,470	
	司会委託費	20,000	20,000	
小計		220,000	140,470	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	340,000	229,179	上限20,000円×17チーム
	世界大会分試作補助費	40,000	40,000	上限20,000円
小計		380,000	269,179	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	175,000	168,600	せんだいメディアテークiCAN19付帯設備料・iCAN20施設使用料
小計		175,000	168,600	
印刷・製本費	国内予選広報費	85,000	79,704	iCAN20国内予選チラシ・ポスター制作費
小計		85,000	79,704	
食糧費	国内予選交流会費	80,000	63,645	
小計		80,000	63,645	
事務関係費	消耗品費	55,000	51,824	事務消耗品、各種案内送料、カード年会費
	銀行手数料	0	9,078	銀行振込・払戻手数料等
小計		55,000	60,902	
雑費	世界大会事務経費	10,000	19,408	海外旅行保険料
小計		10,000	19,408	
支出合計		3,701,000	3,012,503	
当年度収支		0	0	

**令和 2 年度事業計画（案）  
審議事項**

第 1 号議案 役員の就任・辞任・変更

第 2 号議案 令和 2 年度事業計画（案）

第 3 号議案 令和 2 年度予算（案）

## 第1号議案 役員の就任・辞任・変更

MEMSPC 総会にて承認を得た後、下記のとおり役員体制を変更する。

### (1) 就任・辞任

現時点で変更なし。

### (2) 変更

新	旧	所属	肩書
高田 佳幸 支店長	佐野 成信 支店長	株式会社 日本政策 投資銀行 東北支店	監事

## 第2号議案 令和2年度事業計画（案）

令和元年度に引き続き、①情報発信事業、②人材育成事業、③技術相談事業、④ネットワーク形成事業を実施すると共に、以下のとおり事業の充実化を図る。

### (1) 試作コインランドリ利用の推進について

各種展示会や講演会、仙台 MEMS ショールーム等において、試作コインランドリの活用による実用化例や、利用可能な設備、技術等の情報を広く発信して利用者の増加を目指す。また、MEMSPC 会員のネットワークも活用しながら、開発の支援を行う。

### (2) MEMS 集中講義

第18回のMEMS集中講義を下記の通り開催する。

日時：2020年8月19日（水）～21日（金）

当初、北九州市での開催を予定していたが、ネット（YouTubeを予定）のライブ配信に変更となった。例年通り参加費は無料とし、MEMSの基礎知識から学会等の最新情報までを幅広く扱って、MEMSに携わっている技術者、これから関係しようとする技術者に必要な情報を提供する。

### (3) MEMSPC 会員企業の要望に応じたネットワーク構築活動

これまでのMEMSPCの取組みにより培ったネットワークを、会員企業がより効果的に利用できるよう、要望に応じて事務局がコーディネートや企業訪問を行う等により会員企業のネットワーク構築に寄与する。

また、令和元年度に実施予定だったMEMSPC Caféを東京にて開催し、首都圏を中心としたMEMSPC会員企業及びMEMSPC事務局との間のネットワーク構築活動を精力的に行う。

第3号議案 令和2年度予算(案)

(1) 令和2年度 MEMSPC 予算積算内訳(一般会計)

(単位:円)

収入の部				
項目		R2年度予算	R1年度決算	備考
前年度繰越金		16,042,111	15,550,158	
会費収入		4,300,000	4,200,000	1口50,000円
人材育成試作実習受講料		0	866,401	
協賛金		0	100,000	(一財)みやぎ産業科学振興基金様
交流会会費		100,000	63,000	
雑収入		0	133	銀行利息
収入合計		<b>20,442,111</b>	<b>20,779,692</b>	
支出の部				
項目	内訳	R2年度予算	R1年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	30,000	0	
	さくらインターネットHP更新作業費	6,000	3,982	
	さくらインターネットサービス継続利用料	6,000	0	
小計		<b>42,000</b>	<b>3,982</b>	
出展関係費	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	100,000	0	展示物送料, 出展雑費
	SEMICON Japan関係	50,000	0	アカデミックブース出展
小計		<b>150,000</b>	<b>0</b>	
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	70,000	59,400	MEMSPCブース出展費用
	MEMSマッチングフォーラム	150,000	0	
	MEMS集中講義開催経費	200,000	0	講義映像記録費・会場使用料・講師謝金・旅費
小計		<b>420,000</b>	<b>59,400</b>	
交流会開催費	MEMS集中講義	100,000	211,080	
	MEMSマッチングフォーラム	100,000	0	
	マイクロシステム融合研究会	100,000	35,000	
	MEMSPC Cafe	100,000	0	
小計		<b>400,000</b>	<b>246,080</b>	
人材育成運営費	人材育成運営費	200,000	1,212,916	人材育成試作実習運営経費
小計		<b>200,000</b>	<b>1,212,916</b>	
iCAN運営費	iCAN運営費	2,406,000	3,005,771	※詳細な内訳は特別会計予算参照
小計		<b>2,406,000</b>	<b>3,005,771</b>	
事務関係費	消耗品費	30,000	13,969	事務消耗品費, 年会費請求書・各種案内送料
	銀行手数料	3,500	4,038	銀行振込・払戻・両替手数料等
小計		<b>33,500</b>	<b>18,007</b>	
ショールーム関係費用	建物賃付料	170,000	157,025	
	光熱費	45,000	34,400	
小計		<b>215,000</b>	<b>191,425</b>	
支出合計		<b>3,866,500</b>	<b>4,737,581</b>	
当年度収支		<b>533,500</b>	<b>491,953</b>	収入合計(前年繰越を除く)ー支出合計
繰越金		<b>16,575,611</b>	<b>16,042,111</b>	

## (2) 令和2年度 iCAN 運営費 予算積算内訳 (特別会計)

(単位:円)

※iCAN'20はオンライン上での開催を見込んで計上。

収入の部						
項目		R2年度予算	R1年度決算	備考		
iCAN運営費(一般会計より)		2,406,000	3,005,771			
協賛金・助成金		0	0			
雑収入		0	6,732	銀行利息		
収入合計		2,406,000	3,012,503			
支出の部						
項目		内訳		R2年度予算	R1年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費		0	656,000	iCAN'20はオンライン上で開催	
	世界大会参加国内旅費		200,000	174,420		
小計			200,000	830,420		
海外旅費	世界大会参加旅費		1,356,000	1,380,175	【R2予算】 航空券(100,000円/人×8人) 宿泊料(16,100円/泊×8人×3泊) 日当(5,300円/日×8人×4日) ※2チーム8人で積算	
	小計		1,356,000	1,380,175		
国内予選 人件費	審査員謝金		50,000	30,000		
	審査員旅費		150,000	90,470		
	司会委託費		20,000	20,000		
小計			220,000	140,470		
器具・備品費	国内予選分試作補助費		340,000	229,179	上限20,000円×17チーム	
	世界大会分試作補助費		40,000	40,000	上限20,000円	
小計			380,000	269,179		
使用料・借用費	国内予選会場使用料		100,000	168,600		
	小計		100,000	168,600		
印刷・製本費	国内予選広報費		85,000	79,704	チラシ・ポスター制作費	
	小計		85,000	79,704		
食糧費	国内予選交流会費		0	63,645		
	小計		0	63,645		
事務関係費	消耗品費		55,000	51,824	事務消耗品、各種案内送料、カード年会費	
	銀行手数料		10,000	9,078	銀行振込・払戻手数料等	
小計			55,000	60,902		
雑費	世界大会事務経費		10,000	19,408	海外旅行保険料	
	小計		10,000	19,408		
支出合計			2,406,000	3,012,503		
当年度収支			0	0	収入合計－支出合計	

## MEMS パークコンソーシアム 令和2年度役員等名簿（案）

【役員】				
肩書	所属	部署	役職	氏名
代表	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	准教授	戸津 健太郎
副代表	SEMIジャパン		代表	浜島 雅彦
副代表	東北大学	未来科学技術共同研究センター	教授	桑野 博喜
副代表	東北大学		名誉教授	原山 優子
副代表	東北経済産業局	地域経済部	部長	蘆田 和也
副代表	宮城県	経済商工観光部	部長	千葉 隆政
副代表	仙台市	経済局	局長	遠藤 和夫
監事	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	支店長	高田 佳幸
幹事	富士電機 株式会社	技術開発本部 先端技術研究所 材料基礎技術研究センター 先端材料技術研究部 計測デバイスGr	主査	松下 浩二
幹事	株式会社 アドバンテスト研究所		代表取締役社長	君島 正幸
幹事	株式会社 メムス・コア		代表取締役社長	本間 孝治
幹事	産業技術総合研究所 東北センター		上席イノベーションコーディネータ	南條 弘
幹事	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
幹事	東北大学ベンチャーパートナーズ		代表取締役社長	吉村 洋
顧問	一般社団法人 東北経済連合会		会長	海輪 誠
顧問	東北大学		総長	大野 英男
顧問	東北経済産業局		局長	相樂 希美
顧問	宮城県		知事	村井 嘉浩
顧問	仙台市		市長	郡 和子

## 【アドバイザー】

アドバイザー	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	シニアリサーチフェロー	江刺 正喜
--------	------	--------------------	-------------	-------

## 【推進委員会委員】

肩書	所属	部署	役職	氏名
委員長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任教授	大高 剛一
委員	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	次長兼企画調査課長	千葉 幸治
委員	株式会社 ティ・ディ・シー		代表取締役社長	赤羽 優子
委員	株式会社 リコー	未来技術研究所		齋藤 哲郎
委員	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
委員	東北大学	研究推進部産学連携課	課長	菊田 克也
委員	東北経済産業局	地域経済部製造産業課	課長	村田 久明
委員	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	課長	石川 佳洋
委員	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	課長	林 雄次

## 【事務局】

肩書	所属	部署	役職	氏名
事務局長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任教授	大高 剛一
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	准教授	戸津 健太郎
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	事務補佐員	庄子 留美子
	東北経済産業局	地域経済部製造産業課	課長補佐	晴山 美保子
	東北経済産業局	地域経済部製造産業課	係長	鈴木 晃平
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主幹(班長)	大友 啓司
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主査	三浦 純也
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	主査	高橋 大喜
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	主事	齋藤 理奈